

○ 特集

- 製品・技術ニュース：「ツメ高仕様バッテリードア」の導入 … P1
- 補聴器フィッティングのコツ：「実耳フィッティング～センソグラム～」 … P2
- フィッティングの現場から：フィッティングに困ったら、「対応ガイド」が便利 … P4
- すぐ使える集客・販促のヒント：「夏は既存客集客のチャンスです」 … P5
- 編集後記：「ワイデックス 補聴器ミニ博物館」 … P6

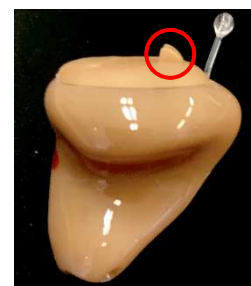
製品・技術ニュース

「ツメ高仕様バッテリードア」の導入

以前からご要望に応じて、バッテリードアのツメを高くし、お客様が扱いやすくする加工（ツメ高加工）を手作業で行っておりました。この度、一体成型の量産品として、「ツメ高仕様バッテリードア」を新たなオプション品として導入いたしました。

<利点>

- バッテリードアの開閉が容易（従来品より爪、指先がかかりやすい）
- ツメとバッテリードアの一体成型、かつ量産品の為、形状、サイズ、品質が均一で仕上がりもきれい
- 一体成型品のため、ツメ部分が外れることが無い
- 店頭での加工（小さく削ったり）が可能

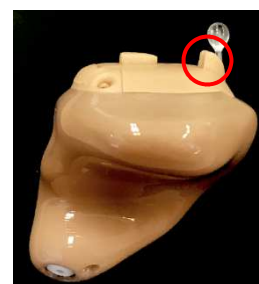


【UNIQUE/DREAM/DAILY用】

適用製品：UNIQUE、DREAM、DAILY、MENUの各ITC（XP、X）モデル

注意：UNIQUE、DREAM、DAILY用とMENU用ではバッテリードアの形状が違うことから、ツメ高部分の形状が若干異なります。

「オーダーメイド補聴器製作指示書」にてオプション選択ができますので、是非お試しください！



【MENU用】

実耳フィッティング ～センソグラム～



耳道がとても狭い方や、耳道が太い方がいるけれど、オーディオメーターで測定したオーディオグラムでそのまま調整していいのかな？

お客様の聴力をオーディオメーターを使ってきちんと測っているのに、補聴器を着けて、また最小可聴域値を測るので、二度手間じゃないの？

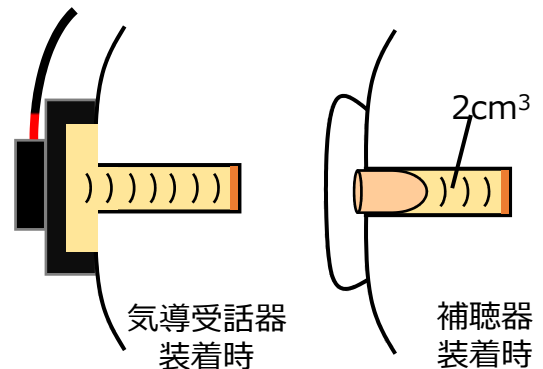
お客様が実際に補聴器を使う状況で測定するのが「センソグラム」です。もちろん、オーディオメーターで測定した気導聴力レベルを使っても調整できます。



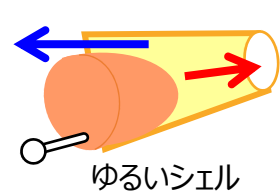
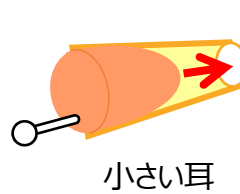
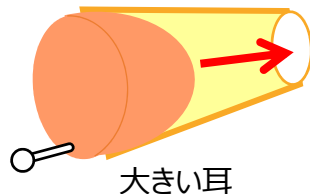
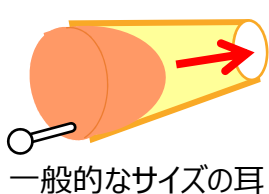
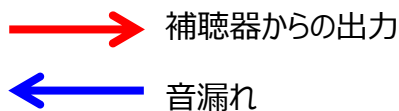
外耳道の残存容積と鼓膜にかかる音圧の変化

気導受話器の装着時に比べると、補聴器やイヤモールドを装着した場合、耳道内の容積（残存容積※）が小さくなるため、鼓膜に届く音圧は**耳道の形状や大きさによる差の影響を大きく受けます。**

また、シェルがゆるかったり、ベントによっても鼓膜に届く音は変わってきます。



※ 一般成人の平均的な残存容積：約2cm³



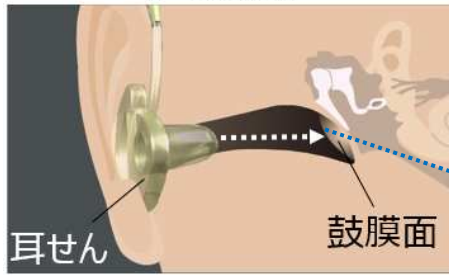
このような個人差を考慮して、鼓膜面での音圧を調整するのが

⇒ **センソグラム**です。

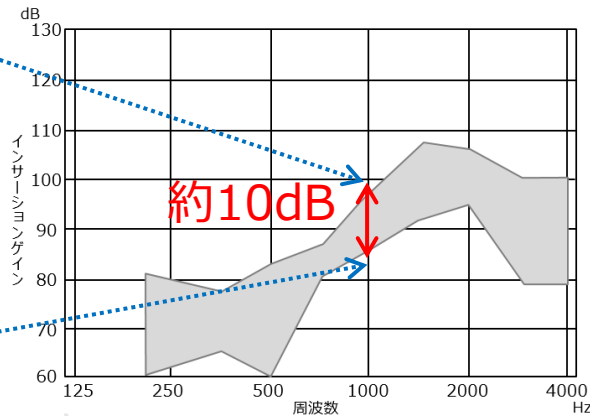
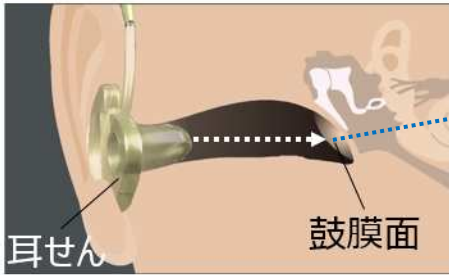
過去に行った実験結果をみてみましょう。

同じ補聴器を17人に装着してもらい、鼓膜面上での音圧を測定したものです。

小さな耳



大きな耳



同じ補聴器を17人の耳につけたときの耳の中での音圧のばらつき (Olson,1985)

会話の中心である1kHz付近で、約10dBもの差が生じている。

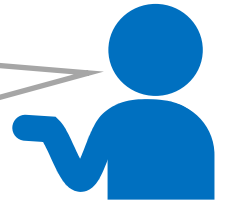


個人差を考慮するなら、この差にも注目したい。



実際の補聴器装用状態で測定することで、**この個人差も反映できる。**

さらに・・・最新のBEYONDやUNIQUEでは、センソグラムの測定前にフィードバックテストを行うことで、音漏れ具合を考慮したセンソグラム (センソグラムEAT) により、より個人差に合わせたフィッティングを行っています。



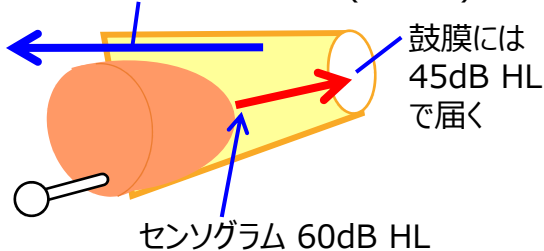
ワイデックス営業マン

参考：センソグラムEAT (Equivalent Adult Threshold)

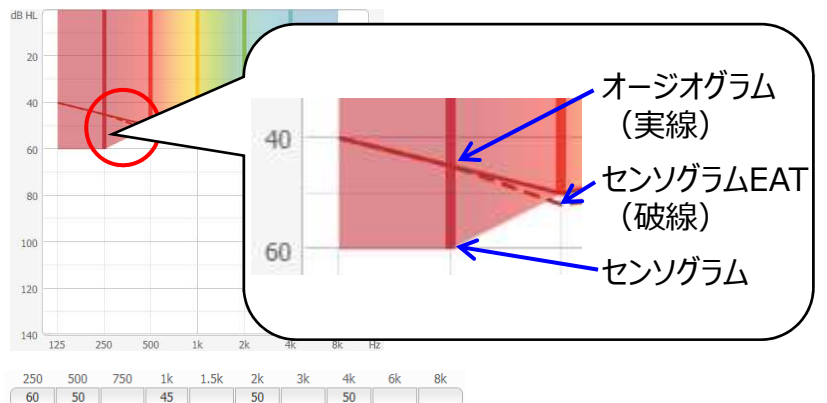
- (例) ● インサイチュメント径：1.4mm
- 250Hzのオーディオグラム 45dB HL



1.4mmの音漏れ = 約15dB(250Hz)



250Hzのセンソグラムを測定するとき、ボタンをクリックするとオーディオグラムより大きな数字が表示されることがあります。今回の例では、インサイチュメント径が1.4mmなので、250Hzで約15dB分音漏れします。そのため、センソグラムはオーディオグラムの45dB HLに15dB足した60dB HLが表示されます。しかし、お客様の鼓膜には、15dB分ロスして届くので、オーディオグラムと同じ45dB HLで聞こえることとなります。この音漏れを計算したセンソグラムがセンソグラムEATです。



フィッティングに困ったら、「対応ガイド」が便利

お客様の訴えに対して、ゲイン設定や機能設定のどこを調整すればよいかわからないときには、COMPASSソフト内の「対応ガイド※」を使ってみましょう。 ※注意：DAILY・MENUシリーズは除く。

<起動手順>



① 訴えを選択

- 補聴器の聞こえ**
- 物理的装着感
- 補聴器の使い方
- DEX

② 区分を選択

- 全体的な音量感
- 会話音
- 大きな音やノイズ
- 小さな音やノイズ
- ノイズの中での聞き取り
- 音質
- 自分の声の音質**
- その他の問題

③ 訴えを特定

- 自分の声が鋭い、甲高い**
- 自分の声が響いたり（残響）、櫛の中で話しているように感じる
- 自分の声がかさった、つまった感じがする
- 自分の声が不快である

お客様の訴えに近い項目を選択します。

対応案が表示されます。お客様の訴えがある側、または両耳のボタンをクリックして、お客様の反応をみます。

対応策

補聴器の聞こえ - 自分の声の音質 - 自分の声が鋭い、甲高い

イヤセットが選択された音響構成に一致していない可能性があります。選択画面に移り、モデル選択で正しい音響構成を選びます。

一般的に中・高音域のゲインを下げるとういかもしれません

- 中音域のゲインを下げます

一般的に中・高音域のゲインを下げるとういかもしれません

- 高域のゲインを下げます

低音域のゲインを上げるとよいかもしれません

- 低域のゲインを上げます

対応ガイド

- 問題の特定
- 対応



ユーザー情報、現在のフィッティング調整状態に基づき解決策が提案されます。

再調整の参考にしてください。

さらに詳しくは...

× ガイドの終了



変更前の状態に戻すときは、調整変更の取り消しボタン（）をクリックします。ガイドを終了する場合には、左側の  ガイドの終了 をクリックし、対応ガイドを終了します。

対応ガイドのメリットは、調整前と調整後を瞬時に切り替えられることです。設定をすばやく切り替えることで、お客様に設定の違いがわかりやすくなります。



夏は既存客集客のチャンスです

暑さが厳しいこの季節は、お客様の来店もどうしても滞りがちになりますが、汗による故障も増えるので、お子さんの帰省や旅行などのイベントをきっかけにして、普段以上にメンテナンスの重要性を訴え集客に結び付けましょう。

● 夏の2回メンテナンスDM

ワイデックスのDMの中でも、特に注目していただきたいのが、新登場の「2回メンテナンスDM」です。既存顧客の集客に最も人気のある「プロの無料メンテナンスDM」に工夫を加えた自信作です。ぜひ、ご活用ください。

DM1枚で
2回来店
のチャンス

暑くなる前に 1回目	日付 / までに	点検 スタンプ	/	点検済
暑さが一段落して 2回目	日付 /	点検 スタンプ		

プレゼント
の工夫で
売上アップ

既存のお客様に定期的に来店していただく機会をつくるのが大切です。
定期的な来店を消耗品やアクセサリの購入、買い替えに繋げましょう。

お手入れのための消耗品をプレゼントに活用しましょう。試すことで、使い心地や効果が実感、納得できるはず。
毎日使う必需品として継続購入が期待できます。

その他人気のメンテナンスDM

ワイデックスでは、他にも豊富なDMのラインナップをご用意しています。



補聴器おそうじシート

耳あかや皮脂汚れを超極細繊維シートで絡め取って落とします。銀イオンと消臭成分を配合。気になる雑菌やニオイを抑えます。

NEW



補聴器おそうじシート 1箱20包入 1,080円(税込)

DMのご注文は、MYDOにて承ります。

お電話でのご注文は、カスタマーセンターまで。フリーコール：00777-81810 直通：03-5631-3174

ワイデックス 補聴器ミニ博物館

今回は、ワイデックス(日本)のオフィス内にある「補聴器ミニ博物館」をご紹介します。

「補聴器ミニ博物館」は、今から100年以上前に販売された補聴器から、現在の補聴器まで多くの製品を展示してあります。今回はその中から、一部をご紹介します。

1890年代（明治10年代）に販売されていた「スピーキングチューブ」や、増幅器付きカーボン式補聴器などです。かなり貴重なものです。



世界初の耳あな型フルデジタル補聴器「センソ CX」(1996年)や、補聴器を身近なものにしたブラボシリーズなどです。

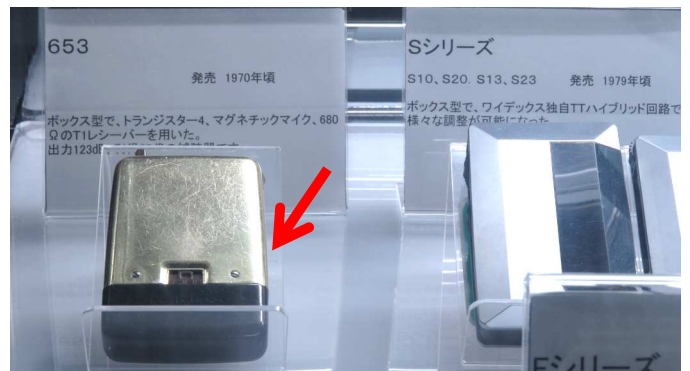


ワイデックスへご来社の際には、「補聴器ミニ博物館」も、是非ご覧ください。

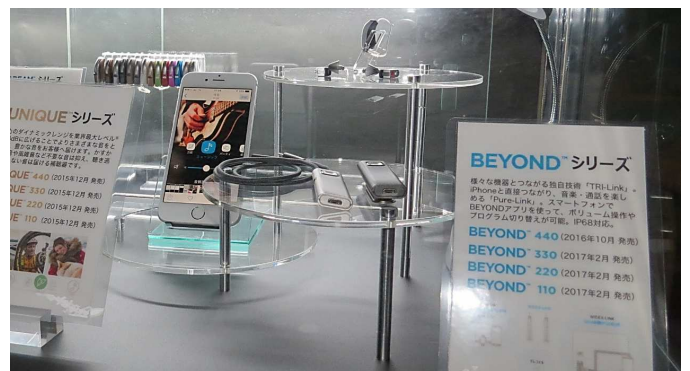
「HYGGE-ヒュッゲ-」とは？

タイトルの「HYGGE-ヒュッゲ-」は、デンマーク語で「居心地のよさ」や「快適」を意味する言葉です。HYGGE-ヒュッゲ- 通信を通して、販売店の皆様と素晴らしい関係を構築していきたいとの願いを込めて、タイトルにしました。

1970年代に発売したワイデックスの箱型補聴器「653」です。金色の本体が高級感を演出しています。



初めてISP（統合信号処理）を搭載した「Inteo」や発売当時世界で最も小さいRIC補聴器「Passion」、最新のBEYONDシリーズやUNIQUEシリーズ、DEX機器なども展示しています。



ワイデックス HYGGE-ヒュッゲ- 通信に関するお問い合わせは・・・
フリーダイヤル：00777-81810